



おくさわ

令和7年度 重点教育目標 「考えるこども」の育成



なごき
和みの学び舎
奥沢中学校
奥沢小学校
東玉川小学校

子どもたちの変容に気付くこと

副校長 松田 朋

本校では、「非認知能力の育成」(数値では表せない乗り越える力、主体的に動く力、自己管理能力など)について研究を行っています。

先日行った研究会には、講師の先生と教育委員会の方々もお越しくださり、アンケートの分析の仕方や授業づくりについてご指導くださいました。アンケートでは、全体の傾向を掴むことが多いのですが、複数回の実施を通して個人にどのような変容があるかを見ていくことが大切であることを改めて学びました。

11月に入り、5年生が職員室で電話をかけていました。防災について学ぶため、奥沢まちづくりセンターや消防署、地域の方と連絡を取り、訪問やお話を伺う約束をしていました。電話が終わると、一緒に見ていた児童たちが、「おおー!」と拍手をし、電話をしていた児童はホッとしながらも、笑顔で「できたー。」と言っていました。電話をかけるまでは緊張しています。とても大切な役割です。しかし、周りの応援や電話を切った後の拍手には、その児童は達成感や充実感が大きく膨らんだことと思います。一方で、「もっとこう言えばよかった」といった反省や、見ていた側も「次は自分がやりたい」といった目標などが出てきます。

11月21日(金)には、奥沢交和会の方々と有志の6年生が、朝に落ち葉掃きを行いました。二手に分かれて掃除をしていましたが、「そろそろ終わり。」と声がかかると、今まで以上に手を動かします。最後の学校の外側は、細かい落ち葉まで丁寧に集め、とてもきれいな道になりました。さらに、この体験をするまで気にすることのなかった、学校内の落ち葉についても掃除したいと声が上がりました。その時だけかな?と思っていたら、次の日の朝、校庭の落ち葉を集める子どもたちの姿が。その後も、朝に掃き掃除をするボランティアの5,6年生がいます。

そして、現在、12月5日(金)、6日(土)の奥沢発表会に向けて、各学年が練習を進めています。ここでも、児童たちそれぞれが、「恥ずかしいけど大きな声を出そう」「音楽に合わせて体を動かそう」「こんな言い方の方が伝わるかな」など一生懸命考えてよりよいものにするために頑張っています。

日々の授業や、日常生活、様々な体験や経験を通して、大人が子どもたちの変容に気付く、価値付けることが、非認知能力の育成につながり、学習や生活の中でより生かされていくことを感じています。引き続き、研究を進め、子どもたちの成長を、保護者、地域の皆様と協力して支えてまいります。

最後になりましたが、学校評価アンケートへのご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様本当にありがとうございました。結果については、改めてお知らせいたします。

ユニセフ募金について

児童運営委員担当 新鞍亜弥子

10月6日から10月10日まで、児童運営委員が声をかけ、ユニセフ募金の活動に取り組みました。児童は、世界には支援を必要としている子どもたちがいることを知り、思いやりの心や社会に役立つ行動の大切さを学べたことと思います。

今年は募金で27,451円集まりました。集まったお金は、ユニセフを通して、世界の子どもたちのために役立てられます。ご協力ありがとうございました。

12月の生活目標

「学校をきれいにしよう」

12月の保健目標

「かぜを予防しよう」

和みの学び舎ミニマム重点目標

「そうじをしっかりとる」

「人格の完成をめざして」

12月のテーマは、「学校・家族・地域の一員」

～家族のためにできることに進んで取り組もう～ です。

- ・誰かの役に立つのは、うれしいな!
- ・友達とよりよい学級、学校をつくっていききたい!
- ・冬休みには、大掃除やお手伝いをがんばるよ!
- ・家族の一員として、自分の仕事を続けるよ!

集団の一員として、みんなのために、自分のために、どんなことができるかを考えてみましょう。

[illegible][illegible]